

街中を子どもの学びの場  
・子どものための学びの場  
・フリースクールとの連携

地域とともにあり、地域  
づくりに参画する学校  
～共生社会の中の学校

子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり  
～たくましく・やさしい夢のある子どもを育てる～

自分の人生を豊かに  
生きる教職員

時間削減の目標

	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年
小学校	35	34	33	32	31	30
中学校	42	39	36	33	30	30

縄文のビーナスプラン②  
地域の特色と教育的財産を生かした小中一貫教育と  
探求的な学び

茅野市働き方改革の目標  
子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり  
—教職員が教育活動に専念でき、自分の人生を豊かにするための教育環境—  
—時間を生み出す工夫をしていく—

縄文のビーナスプラン①  
共生社会をつくり、子どもたちの  
多様性を包み込む学校

茅野市の働き方改革の具体

児童相談所・警察・  
外部機関との連携

働き方改革の核  
～学校と教育委員会との役割分担と協働～ 子ども・家庭支援の充実と  
子ども家庭への支援・相談は **育ちあいちの** 学校・職員の支援の充実と  
5 19 精神的負担の軽減

市の社会福祉部門との連携

学校の取組 地域と共につくる学校  
1 コミュニティ・スクールの充実 4 17  
(地域コーディネータによる運営)  
・子どもの学びのための支援  
・学校施設整備への支援  
・見回り(交通安全・不審者) 1  
2 ボランティアの方による学びの支援 15  
3 広報資料・ウェブサイトの作成 7  
米沢小学校では、学校運営協議会と連携して地域ボランティアによる子どもへの学習支援をしていただきます。

学校業務の効率化・軽減化  
1 勤務時間の客観的管理・市教委の把握  
2 校務のICT化 教師用タブレットとクラウド利用とネットワーク化  
3 業務支援員の配置 16  
4 会議、提出物の精選化  
5 年間計画、日課表の改善(研究、授業準備の時間の確保、定時退庁日の設定)  
米沢小学校では、日課表を工夫することで、子ども理解や、教材研究、授業づくり、教職員が自由に話し合う時間に充てていきます。

教育課程の改善  
1 1時間単位の授業の弾力的運用  
(中学校)  
2 小学校教科担任制  
3 教具・教材の共有化  
米沢小学校では、職員による教材の共有化を進めることで質の高い授業を目指します。

働き方改革への市教委として教育活動への支援 ～リードから支援とアドバイスへ～

1 読書活動応援センター(読書指導への支援)  
2 ICTサポートセンター(ICT教育のため  
12名を配置) 8  
3 発達支援センターと特別支援教育支援員の  
配置(40名)  
4 公民館等の公共機関による出前講座等による  
支援

5 いじめ対応の学校支援員会 ・アドバイザーの配置 (弁護士、医師、心理  
の専門家・学識経験者)  
6 部活動の地域展開 (土日の部活はR8年度に完全展開 平日の部活動は  
R13年度までに完全展開) 13  
7 不登校支援 サポートルームの設立(6サポートルーム、7ミニサポートルー  
ム)まなざし 県費1名、市費10名の教員配置  
8 給食指導、食育への栄養教諭、栄養士による指導 14

教職員のメンタルヘルス  
1 ストレスチェックの活用  
2 市独自のストレスチェックテスト  
3 教職員の相談窓口(育ちあいちの)  
4 教委による外部相談・医療紹介